

日本の
ひなた
宮崎県

今月の主要指標 (令和4年9月公表分)

目次

【主要指標の動き】

1	景気動向指数（D I）	1
2	人口	1
3	鉱工業指数（季節調整値）	1
4	新設住宅着工戸数	2
5	公共工事請負状況	2
6	宮崎空港国内線乗降客数	2
7	企業倒産状況	3
8	通関実績	3
9	百貨店・スーパー販売動向	3
10	消費者物価指数	4
11	有効求人倍率（季節調整値）	4
12	労働関係指数（事業所規模5人以上）	4

【参考】

・	「月例経済報告」抜粋	5
・	「宮崎県金融経済概況」抜粋	6
・	参考指標一覧	7

令和4年10月

宮崎県総合政策部統計調査課



「みやざき統計BOX」も
役に立つよ！

みやざき統計BOX



※この統計表は、令和4年10月7日までに得られた数値により作成しています。

「統計みやざき」は、以下のページに掲載しています。

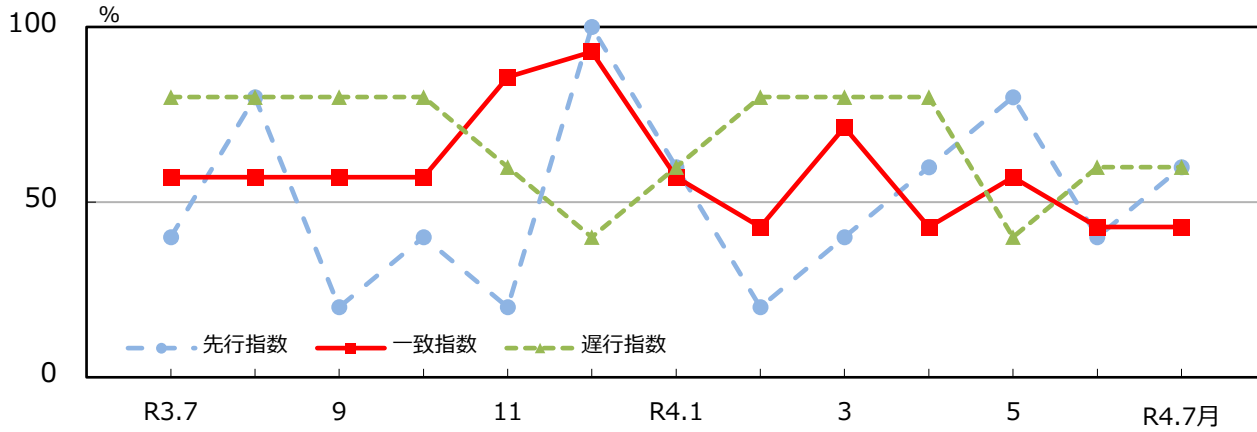
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/tokeichosa/kense/toke/index-47.html>

また、「みやざき統計BOX」でも閲覧することができます。

<https://stat.pref.miyazaki.lg.jp/>

[主要指標の動き]

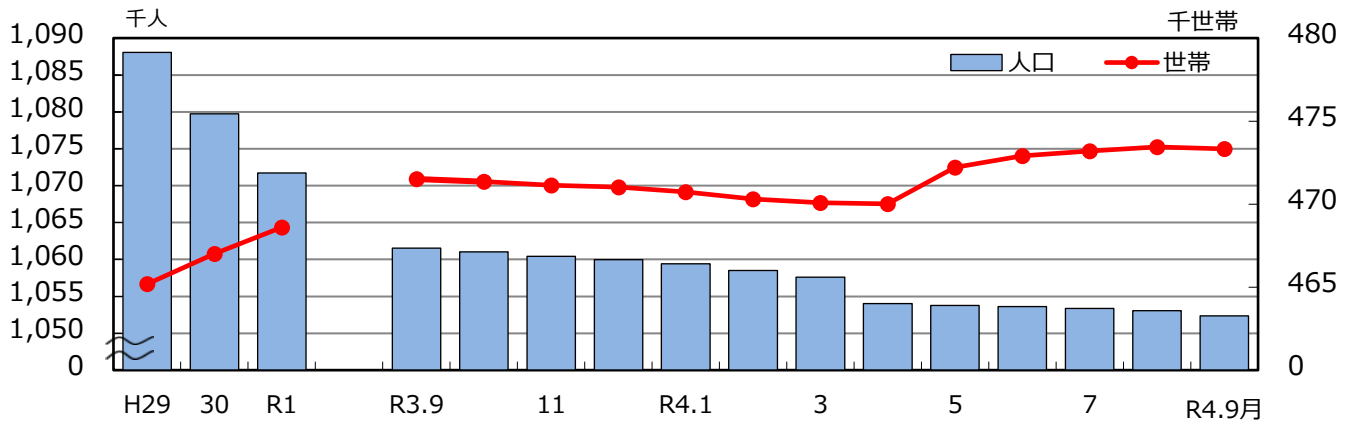
【景気動向指数(DI)】



令和4年7月の本県の景気動向指数は、先行指数60.0、一致指数42.9、遅行指数60.0となりました。

(1-1表 資料：県統計調査課)

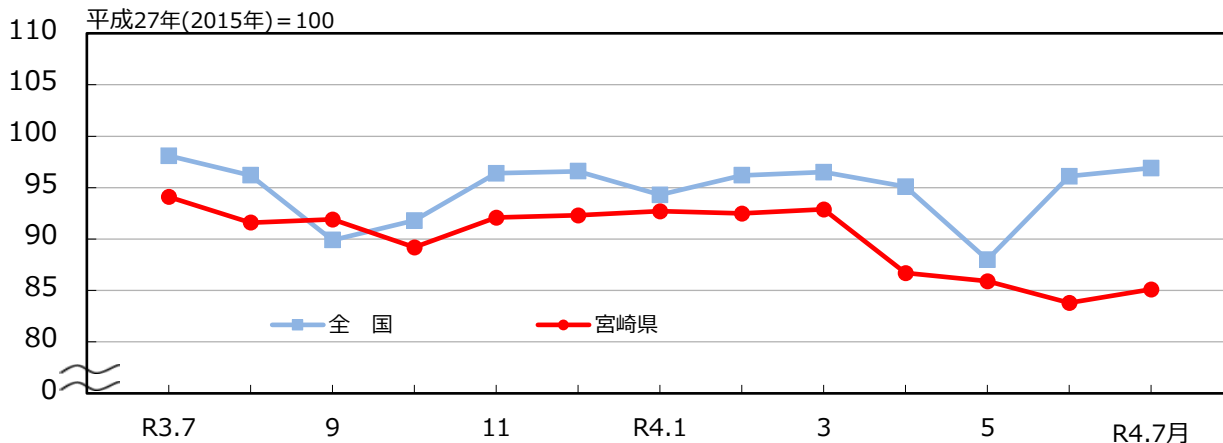
【人口】



令和4年9月1日現在の本県の推計人口は、1,052,337人で前月より734人の減少となりました。また、世帯数は、前月より115世帯減少して473,328世帯となりました。

(2-1表 資料：県統計調査課)

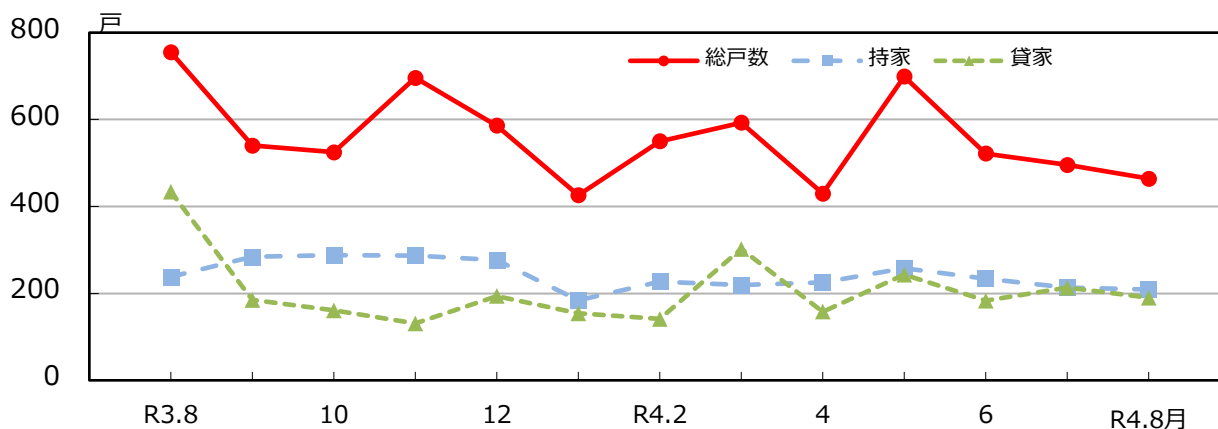
【鉱工業指数 (季節調整済指数、平成27年(2015年)=100)】



令和4年7月の本県の生産指数は85.1で、前月比1.6%の上昇となりました。全国の生産指数は96.9で、前月比0.8%の上昇となりました。
※本県は速報値、全国は確報値

(4-3表 資料：県統計調査課)

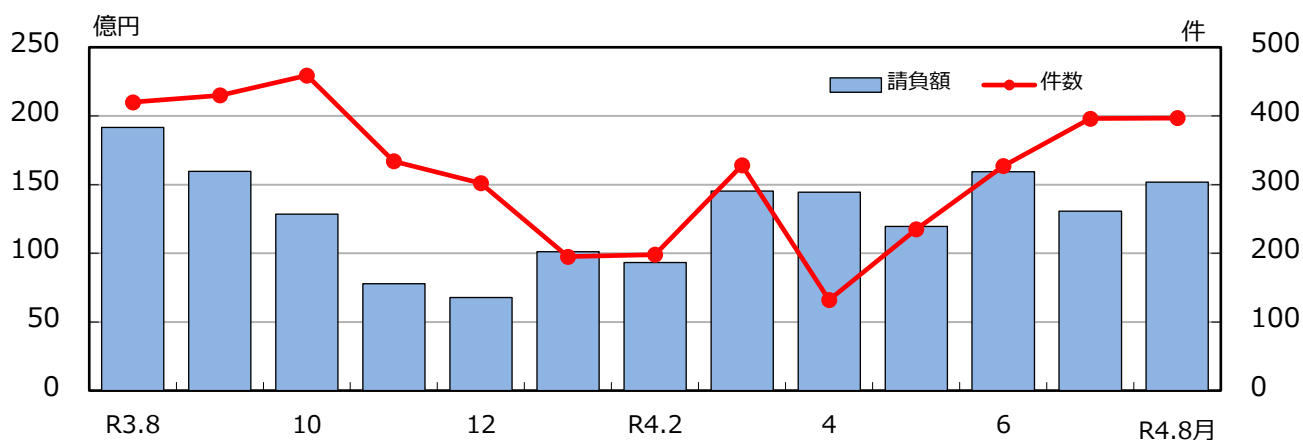
【新設住宅着工戸数】



令和4年8月の県内の新設住宅着工戸数は464戸で、前年同月比38.5%の減少となりました。利用関係別では、持家が209戸で前年同月比12.2%減少、貸家が190戸で同56.2%減少となりました。

(5-1表 資料：国土交通省)

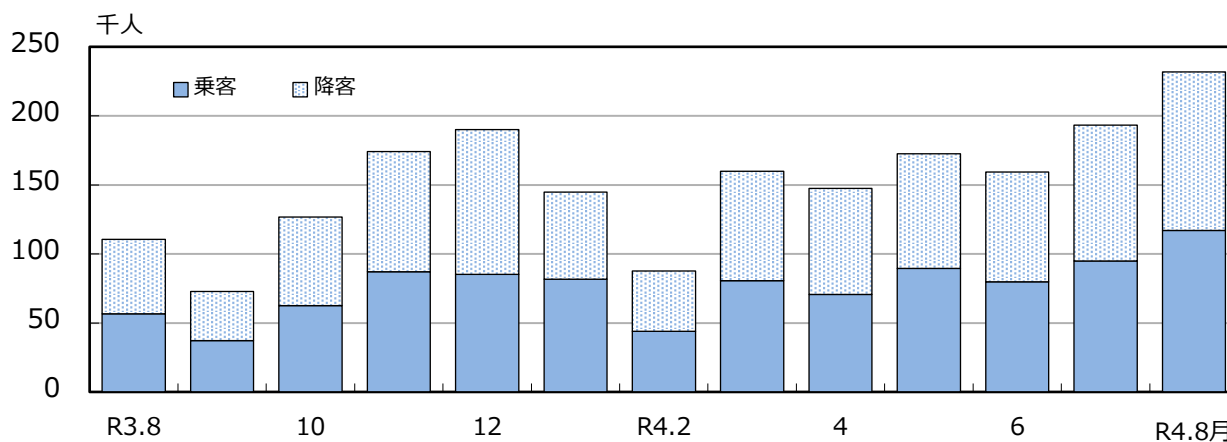
【公共工事請負状況】



前払保証からみた令和4年8月の県内の公共工事請負状況は、件数397件、請負金額151億81百万円で、件数は前年同月比5.5%減、請負金額は同20.8%減となりました。

(5-2表 資料：西日本建設業保証(株)宮崎支店)

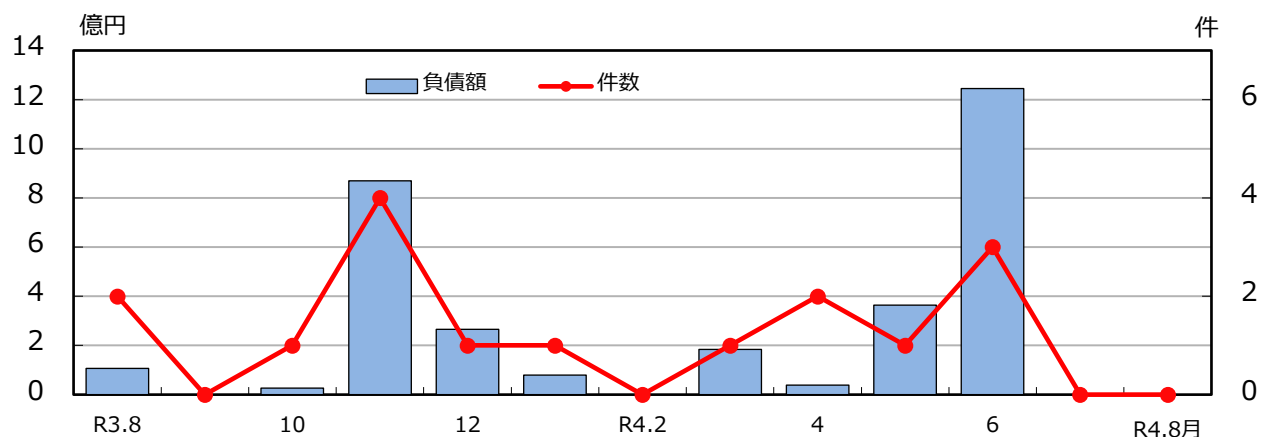
【宮崎空港国内線乗降客数】



令和4年8月の宮崎空港の国内線乗降客数(チャーター便を含む。)は231,699人で、前年同月を109.5%上回りました。

(7-3表 資料提供：宮崎交通(株))

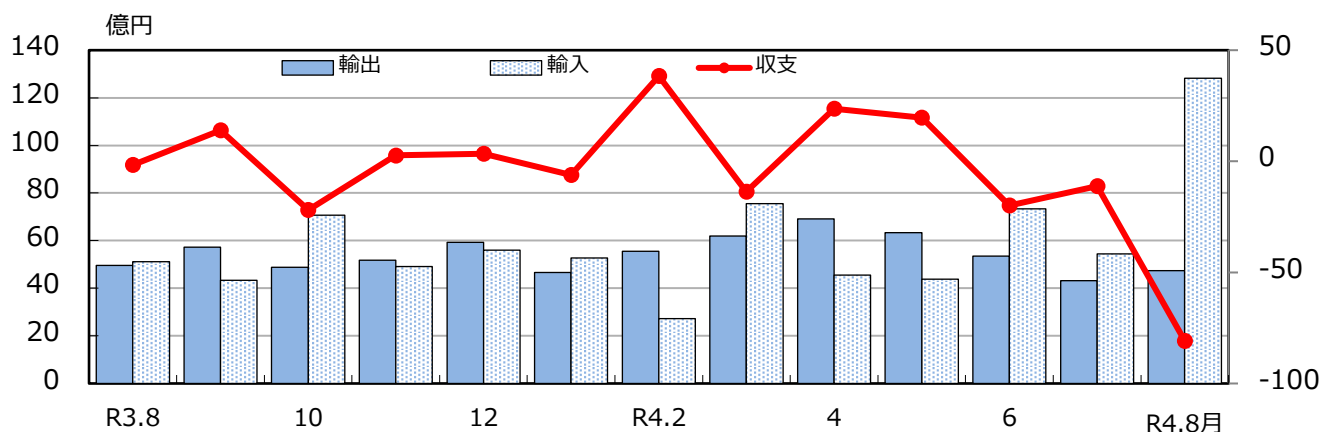
【企業倒産状況】



令和4年8月の本県の企業倒産（負債額1千万円以上の法人及び個人企業）はありませんでした。

（8-6表 資料：(株)東京商工リサーチ宮崎支店）

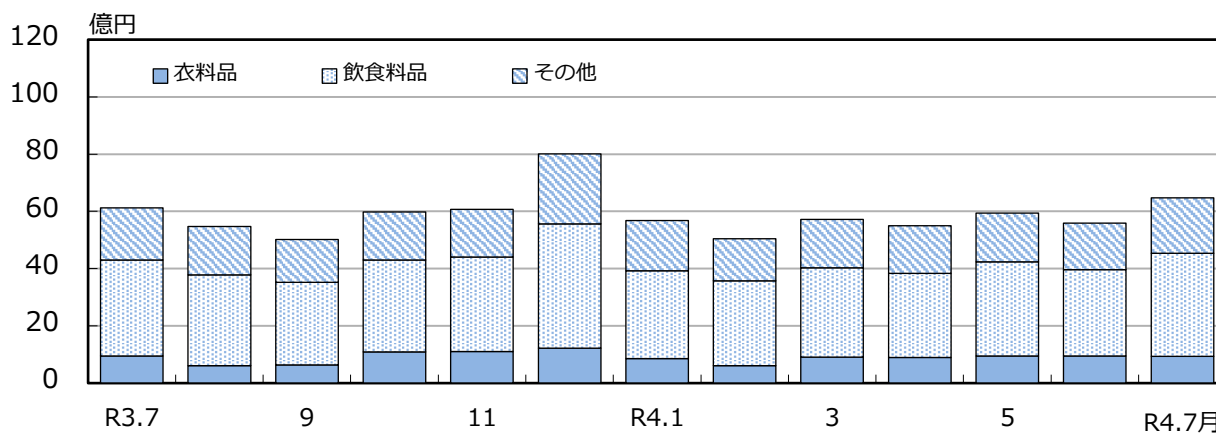
【通関実績】



令和4年8月の宮崎県内（細島港、宮崎空港、油津港）における輸出額は47億43百万円でした。また、輸入額は128億24百万円でした。なお、輸出額から輸入額を差し引いた収支は80億81百万円の赤字でした。

（9-1表 資料：財務省）

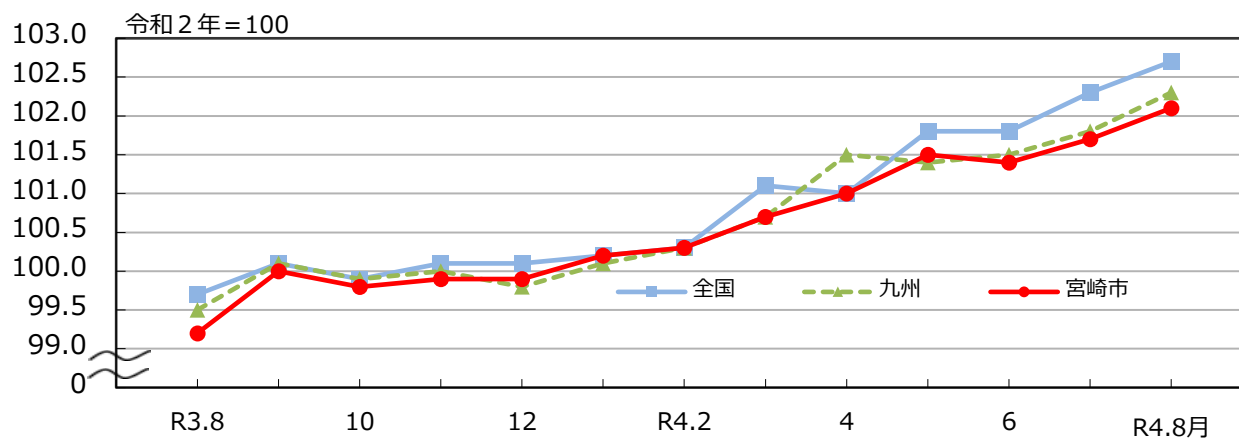
【百貨店・スーパー販売動向】



令和4年7月の県内百貨店及びスーパー（計35事業所）の総販売高は64億75百万円で、前年同月比5.8%増（既存店では5.8%増）となりました。

（9-2表 資料：経済産業省）

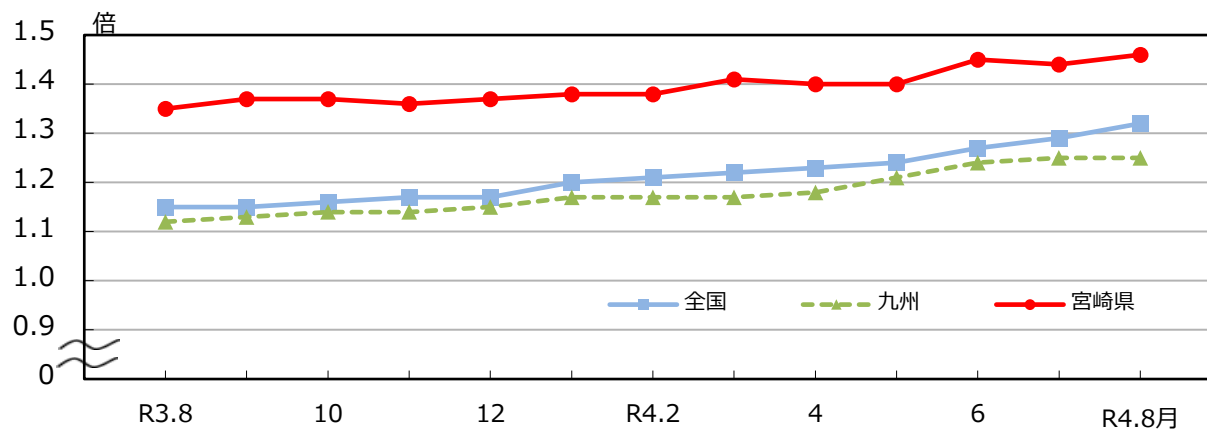
【消費者物価指数】



令和4年8月の宮崎市の消費者物価指数(令和2年=100)は総合指数で102.1となり、前月比は0.4%の上昇、前年同月比は3.0%の上昇となりました。

(10-3表 資料：県統計調査課)

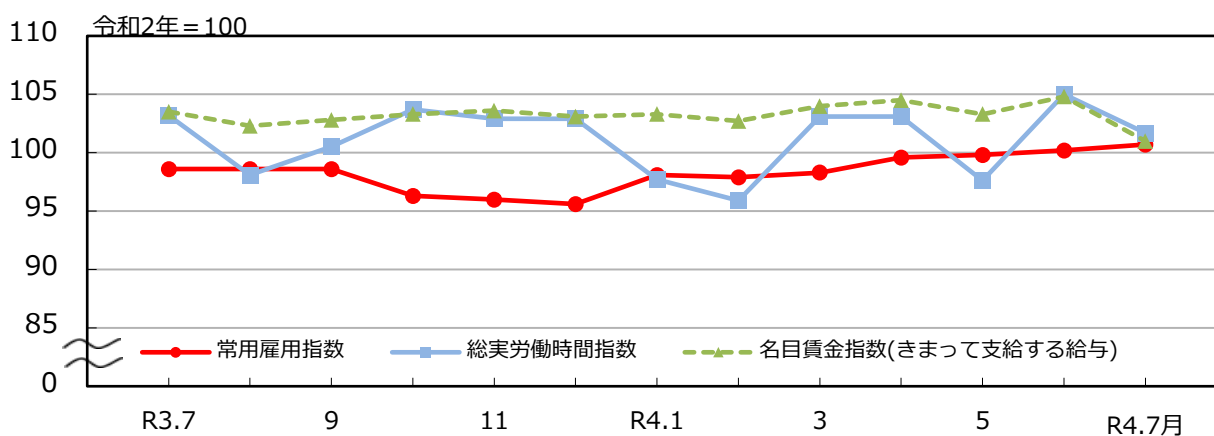
【有効求人倍率】



令和4年8月の本県の有効求人倍率(季節調整値)は1.46倍で、前月より0.02ポイント上昇し、前年同月より0.11ポイント上昇となりました。

(11-1表 資料：宮崎労働局職業安定部)

【労働関係指数(事業所規模5人以上)】



令和4年7月の本県の常用雇用指数(令和2年=100)は100.7で、前年同月を2.1%上回りました。
 総実労働時間指数は101.7で、前年同月を1.5%下回りました。
 また、名目賃金指数(きまって支給する給与)は101.0で、前年同月を2.4%下回りました。

(11-2表 資料：県統計調査課)

[参考]

「月例経済報告」抜粋（令和4年9月30日：内閣府）

【基調判断】

8月月例	9月月例
<p>景気は、緩やかに持ち直している。</p> <p>先行きについては、<u>感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で</u>、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、<u>物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等に</u>十分注意する必要がある。</p>	<p>景気は、緩やかに持ち直している。</p> <p>先行きについては、<u>ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中</u>、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が<u>続く中</u>、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、<u>物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響</u>に十分注意する必要がある。</p>

※ 下線部は、先月から変更した部分

【各 論】

	8月月例	9月月例
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している
設備投資	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる
住宅建設	底堅い動きとなっている	底堅い動きとなっている
公共投資	底堅さが増している	底堅さが増している
輸 出	おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている
輸 入	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる
貿易・サービス収支	赤字となっている	赤字となっている
生 産	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる
企業収益	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している
業況判断	持ち直しの動きに足踏みがみられる	持ち直しの動きに足踏みがみられる
倒産件数	おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている
雇用情勢	持ち直している	持ち直している
国内企業物価	上昇している	上昇している
消費者物価	上昇している	上昇している
海外経済	<p>世界の景気は、<u>持ち直しのテンポが鈍化している。</u></p> <p>先行きについては、<u>緩やかな持ち直しが続くことが期待される。</u>ただし、世界的な金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、供給面での制約等による下振れリスクの<u>高まり</u>に留意する必要がある。</p>	<p>世界の景気は、<u>緩やかな持ち直しが続いている。</u></p> <p>先行きについては、<u>緩やかな持ち直しが続くことが期待される。</u>ただし、世界的な金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、供給面での制約等による下振れリスクの<u>高まり</u>に留意する必要がある。</p>

※ 下線部は、先月から変更した部分

[参考]

「宮崎県金融経済概況」抜粋（2022年10月3日：日本銀行宮崎事務所）

【概要】

9月月例	10月月例
<p>宮崎県の景気は、緩やかに持ち直している。</p> <p>すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、緩やかに持ち直している。観光は、持ち直している。住宅投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。</p> <p>生産は、弱めの動きとなっている。</p> <p>企業部門の動向を短観（6月<鹿児島・宮崎両県集計分>）でみると、<u>景況感は、非製造業を中心に緩やかに持ち直している。</u>設備投資は、高水準で推移している。</p> <p>こうした企業動向を反映して、雇用・所得環境は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として緩やかに改善している。</p>	<p>宮崎県の景気は、緩やかに持ち直している。</p> <p>すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、緩やかに持ち直している。観光は、持ち直している。住宅投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。</p> <p>生産は、弱めの動きとなっている。</p> <p>企業部門の動向を短観（9月<鹿児島・宮崎両県集計分>）でみると、<u>景況感は、製造業を中心に小幅に悪化した。</u>設備投資は、高水準で推移している。</p> <p>こうした企業動向を反映して、雇用・所得環境は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として緩やかに改善している。</p>

※ 下線部は、前回から変更した部分

(参考指標一覧)

— 全国 —

年 月	景気動向指数 (DI)			人 口	世帯数	鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数	
	先行指数	一致指数	遅行指数			季節調整済指数	原指数	季節調整済指数	原指数	季節調整済指数	原指数
				万人	千世帯	27年=100	27年=100	27年=100	27年=100	27年=100	27年=100
H 27 年	—	—	—	12,709	56,412	—	100.0	—	100.0	—	98.0
H 28 年	—	—	—	12,693	56,951	—	100.0	—	99.7	—	94.9
H 29 年	—	—	—	12,671	57,477	—	103.1	—	102.2	—	98.8
H 30 年	—	—	—	12,644	58,008	—	104.2	—	103.0	—	100.5
R 1 年	—	—	—	12,617	58,527	—	101.1	—	100.2	—	101.7
R 2 年	—	—	—	12,615	59,072	—	90.6	—	89.6	—	93.2
R 3 年	—	—	—	12,512	59,497	—	95.7	—	93.7	—	97.8
R 3 年 1 月	86.4	70.0	50.0	12,607	—	95.8	88.4	94.7	86.9	94.8	96.4
R 3 年 2 月	81.8	60.0	61.1	12,599	—	95.7	92.0	94.1	91.0	94.5	95.2
R 3 年 3 月	90.9	90.0	88.9	12,592	—	97.3	108.9	94.8	108.6	94.5	91.5
R 3 年 4 月	90.9	90.0	83.3	12,585	—	98.4	98.6	96.0	95.3	94.7	93.5
R 3 年 5 月	72.7	70.0	77.8	12,578	—	92.3	86.5	93.5	83.9	94.2	95.5
R 3 年 6 月	72.7	70.0	61.1	12,572	—	98.9	101.6	96.5	98.6	95.7	96.3
R 3 年 7 月	54.5	30.0	66.7	12,568	—	98.1	100.0	96.1	97.2	95.4	96.5
R 3 年 8 月	45.5	50.0	66.7	12,563	—	96.2	86.5	93.6	84.9	95.3	96.4
R 3 年 9 月	45.5	10.0	33.3	12,556	—	89.9	93.0	86.9	90.7	97.9	97.1
R 3 年 10 月	36.4	20.0	33.3	12,550	—	91.8	92.8	89.1	90.1	98.4	98.1
R 3 年 11 月	63.6	90.0	44.4	12,544	—	96.4	99.9	93.9	97.1	99.8	100.6
R 3 年 12 月	54.5	90.0	77.8	12,538	—	96.6	100.0	94.1	99.8	99.9	97.8
R 4 年 1 月	54.5	90.0	66.7	12,531	—	94.3	87.7	92.7	85.8	99.2	100.9
R 4 年 2 月	36.4	10.0	66.7	12,519	—	96.2	92.5	92.7	89.6	101.3	102.0
R 4 年 3 月	27.3	30.0	55.6	12,507	—	96.5	107.1	93.3	106.0	100.9	97.7
R 4 年 4 月	54.5	80.0	77.8	12,505	—	95.1	93.8	93.0	90.9	98.6	97.3
R 4 年 5 月	45.5	60.0	66.7	12,493	—	88.0	83.8	89.2	81.3	97.7	99.1
R 4 年 6 月	54.5	70.0	83.3	12,484	—	96.1	98.8	93.7	95.7	99.6	100.3
R 4 年 7 月	35.0	55.6	62.5	12,478	—	96.9	98.0	94.8	95.2	100.2	101.4
R 4 年 8 月				12,475	—						
R 4 年 9 月											
資 料	内閣府			総務省		経済産業省					

年 月	景気動向指数 (DI)			人 口	世帯数	鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数	
	先行指数	一致指数	遅行指数			季節調整済指数	原指数	季節調整済指数	原指数	季節調整済指数	原指数
				人	世帯	27年=100	27年=100	27年=100	27年=100	27年=100	27年=100
H 27 年	—	—	—	1,104,069	462,858	—	100.0	—	100.0	—	100.0
H 28 年	—	—	—	1,095,863	465,186	—	98.6	—	99.9	—	88.6
H 29 年	—	—	—	1,088,044	467,011	—	96.2	—	97.7	—	95.4
H 30 年	—	—	—	1,079,727	468,593	—	96.7	—	97.3	—	102.4
R 1 年	—	—	—	1,071,723	470,687	—	96.6	—	94.4	—	116.8
R 2 年	—	—	—	1,069,576	470,055	—	87.7	—	88.1	—	108.8
R 3 年	—	—	—	1,061,016	471,351	—	91.6	—	90.7	—	111.1
R 3 年 1 月	60.0	71.4	20.0	1,068,432	469,963	89.4	82.1	93.1	84.5	105.3	105.5
R 3 年 2 月	20.0	92.9	40.0	1,067,792	469,860	90.3	85.0	91.6	85.9	105.8	105.8
R 3 年 3 月	20.0	85.7	40.0	1,067,284	469,894	92.6	100.7	94.3	101.3	106.2	105.8
R 3 年 4 月	60.0	57.1	40.0	1,063,767	469,744	93.4	95.6	92.6	92.2	106.4	108.2
R 3 年 5 月	60.0	57.1	90.0	1,063,339	471,706	91.2	84.1	90.4	81.1	106.9	108.0
R 3 年 6 月	40.0	42.9	60.0	1,062,924	471,847	91.7	89.6	91.0	89.5	107.4	106.2
R 3 年 7 月	40.0	57.1	80.0	1,062,317	471,612	94.1	93.2	91.1	92.7	107.6	106.1
R 3 年 8 月	80.0	57.1	80.0	1,061,864	471,625	91.6	85.5	90.0	84.4	108.3	107.4
R 3 年 9 月	20.0	57.1	80.0	1,061,550	471,511	91.9	94.6	85.6	87.4	112.4	111.8
R 3 年 10 月	40.0	57.1	80.0	1,061,016	471,351	89.2	95.1	88.6	91.9	111.0	112.4
R 3 年 11 月	20.0	85.7	60.0	1,060,438	471,139	92.1	96.5	90.5	97.0	112.6	113.1
R 3 年 12 月	100.0	92.9	40.0	1,059,968	471,023	92.3	97.8	90.7	101.0	111.2	111.0
R 4 年 1 月	60.0	57.1	60.0	1,059,438	470,729	92.7	86.6	92.2	84.0	112.4	114.2
R 4 年 2 月	20.0	42.9	80.0	1,058,496	470,295	92.5	87.1	93.5	87.7	115.5	115.5
R 4 年 3 月	40.0	71.4	80.0	1,057,609	470,074	92.9	100.0	93.6	99.4	115.4	115.0
R 4 年 4 月	60.0	42.9	80.0	1,054,020	470,018	86.7	87.6	89.5	88.1	110.3	112.2
R 4 年 5 月	80.0	57.1	40.0	1,053,741	472,218	85.9	80.2	85.0	77.1	114.0	115.2
R 4 年 6 月	40.0	42.9	60.0	1,053,609	472,903	83.8	81.9	88.3	86.8	116.2	114.9
R 4 年 7 月	60.0	42.9	60.0	1,053,356	473,191	85.1	84.1	86.2	87.8	112.2	110.6
R 4 年 8 月				1,053,071	473,443						
R 4 年 9 月				1,052,337	473,328						
表	1-1			2-1		4-3					
資 料	県統計調査課										

- 注
- 1 本県の「表」は「統計みやざき」の掲載表を示しています。
 - 2 人口の年欄は各年10月1日現在、月欄は各月1日現在です。平成27年、令和2年は国勢調査人口です。本県の年欄令和2年及び月欄令和2年10月以降の人口・世帯数については、令和2年国勢調査の確報値を基準としています。
 - 3 全国の世帯数の年欄は、各年1月1日現在の数値です。また、本県の世帯数の年欄は各年10月1日現在の数値です。
 - 4 鉱工業指数について、令和3年12月までの数値は年間補正後の数値です。

